

## 安全データシート

### 1. 【製品及び会社情報】

製品名	ランネート®45DF
供給者情報	
会社名	デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社
住所	東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー11F
電話番号	Tel: 03-5521-2473
FAX 番号	Fax: 03-5521-2470
担当部門	農業製品事業部 プロダクト・ソリューション
緊急連絡先	Tel: 03-5521-2461
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	殺虫剤

### 2. 【危険有害性の要約】

GHS 分類	
急性毒性(経口)	区分 3
急性毒性(吸入)	区分 3
発がん性	区分 1
特定標的臓器毒性、単回ばく露 (呼吸器系)	区分 2
特定標的臓器毒性、反復ばく露 (呼吸器系、腎臓)	区分 2
水生環境有害性(急性)	区分 1
水生環境有害性(慢性)	区分 1

記載がないものは、分類できない、分類対象外 または 区分外。

#### GHS ラベル要素

#### 絵表示またはシンボル



#### 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

飲み込むと有毒。  
吸入すると有毒。  
発がんのおそれ。  
臓器の障害のおそれ。(呼吸器系)  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。  
(呼吸器系、腎臓)  
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

#### 注意書き

##### [安全対策]

使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
粉じんを吸入しないこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
取扱後は手や顔などをよく洗うこと。  
必要なとき以外は、環境への放出を避けること。

## [応急措置]

ばく露またはばく露の懸念がある場合： 医師に連絡すること。  
 飲み込んだ場合： 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。  
 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で  
 休息させること。 医師に連絡すること。  
 特別な処置が必要である(このラベルの応急措置の指示を参  
 照)。  
 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。  
 漏出物を回収すること。

## [保管]

施錠して保管すること。  
 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

## [廃棄]

内容物/容器は、承認された廃棄物処理設備で処分する。

## 特定の危険有害性

吸入、経口で急性毒性がある。吸入毒性は高い。コリンエステラ  
 ーゼ活性阻害。  
 急性毒性物質（毒劇法「医薬用外劇物」）

## 3. 【 組成、成分情報 】

化学物質・混合物の区別 化学名 別名	混合物			
	S-メチル-N-[(メチルカルバモイル)オキシ]-チオアセトイミデート DPX-X1179、商品名：ランネート(Lannate)			
成分及び含有量 化学名	CAS 番号	含有量	官報公示整理番号	
メソミル	16752-77-5	45.0%	2-(5)-130	
結晶質シリカ		< 10%		
その他鉱物質微粉等		45 - 55%		

## 4. 【 応急措置 】

吸入した場合	直ちに移動し、新鮮な空気を吸わせる。呼吸困難に陥った場合には酸素吸入を行う。呼吸が停止した場合には人工呼吸を行う。すぐには症状がなくても医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服や靴などを脱ぐ。直ちに多量の水と石けんで付着した部位を 15-20 分間洗い流す。汚染された衣類は洗濯してから使用する。
眼に入った場合	目を開いて、直ちに水で 15 分間静かにすすぐ。コンタクトレンズをしている場合は、そのまま 5 分間目をすすいでからレンズをはずし、引き続き水ですすぐ。医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	コップ1-2 杯の水を飲ませ、直ちに医師の手当を受ける。可能であれば、指または丸いもので咽頭後壁を刺激して吐かせる。意識不明に陥っている場合には、吐かせてはいけなし、口から物を

入れてはならない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候	急性コリンエステラーゼ活性阻害作用に関連して、悪心、頭痛、筋肉の脱力、けいれん、多汗、唾液分泌増加、流涙、縮瞳、視界のぼやけ、筋肉のけいれん、錯乱や血液学的影響。重症の場合は意識喪失、けいれんや呼吸困難。
応急措置をする者の保護	口移し人工呼吸は行わない。
医師に対する特別な注意事項	解毒剤としては硫酸アトロピン製剤が有効。

## 5. 【 火災時の措置 】

消火剤 使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性	二酸化炭素、泡、粉末、噴霧水 大型棒状の水（汚染のおそれ） 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
消火を行う者の保護 特有の消火方法 特有の対策	自動式呼吸ボンベ及び完全な防護具を着用する。 情報なし 火災の風上に避難させる。区域を隔離する。 危険なくできる時は、燃焼の供給源を速やかに止める。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 水噴霧により容器を冷却する。 大規模火災の場合、消火水により区域の汚染が広がるおそれがあるので危険でなければ燃えるにまかせる。 消火活動は、可能な限り風上から行う。 流出した消火剤による汚染に注意する。

## 6. 【 漏出時の措置 】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出した区域から人々を避難させ、風上に留まらせる。 十分に換気する。 作業の際は必ず保護具を着用し、漏洩物との接触および粉じんの吸入を避ける。 自動式呼吸ボンベを使用する。 風上から作業する。 危険でなければ漏れを止める。
環境に対する注意事項	漏出場所の周りに土手を築き、下水、水路や低地に流入するのを防ぐ。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	まず、熱、火花、炎、衝撃、まさつや電源を遠ざける。 保護具を着用してシャベルですくうか拭き取り回収する。
補足事項	現地の規定に従い、処分する。

## 7. 【 取扱い及び保管上の注意 】

取扱い 技術的対策	十分な換気のできる場所でしか取り扱わない。 目、皮膚や衣類へ付着しないように気をつける。 粉じんの吸入を避ける。
局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項	情報なし 取扱い後は手足及び顔と衣類をよく洗う。 汚染を防ぐため飲食物を保管、摂取したり喫煙したりする場所では取り扱わない。

熱及び着火源から遠ざける。

## 保管

適切な保管条件

換気の良い冷暗所に保管する。

鍵のかかる表示付きの医薬用外劇物の専用保管庫にて貯蔵する。民家から隔離された所で貯蔵する。密栓状態を保つ。通風換気を良好にする。水や食物、飼料などを汚染しないようにする。

安全な容器包装材料

はり合わせアルミはく袋、ポリエチレン製容器

## 8. 【ばく露防止及び保護措置】

### 設備対策

局所排気装置を設ける。作業環境レベルが暴露限界値を超えないよう抑制する。取り扱い作業場の近くに洗眼、洗面、安全シャワー設備を設置する。

### 許容濃度

メソミル:

ACGIH (2014 年度版)

0.2 mg/m<sup>3</sup> (TWA) (吸入性画分および蒸気)

結晶質シリカ:

日本産業衛生学会

0.03 mg/ m<sup>3</sup> (吸入性粉じん、TLV-C)

ACGIH (2011 年度版)

0.025 mg/ m<sup>3</sup> (TLV-TWA)

### 保護具

呼吸器用の保護具

性能の良い農薬用マスク

手の保護具

保護手袋

眼の保護具

保護眼鏡(側板付普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具

エプロン、長袖の上着及び長ズボン等の作業着、長靴(撥水性)

## 9. 【物理的及び化学的性質】 \*は原体

外観(物理的状态、形状、色など)

物質の状態	固体
形状	水和性微粒及び細粒
色	青色
臭い	知見なし
臭いの閾値	情報なし
pH	5.1 (10%)
融点/凝固点	
融点/範囲 *	78.6~80.4°C
沸点、初留点と沸騰範囲	情報なし
引火点	知見なし
蒸発速度	情報なし
燃焼性(固体、気体)	情報なし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧 *	7.2x10 <sup>-4</sup> Pa (25°C)
蒸気密度	情報なし
比重(見掛け)	0.75
溶解性 *	
水溶性	46 g/L (20°C)
n-オクタノール/水分配係数 *	log Pow 0.09 (25°C)
自然発火温度	情報なし

分解温度\* 136°C  
 粘度(粘性率) 情報なし

## 10. 【安定性及び反応性】 \*は原体

反応性 情報なし  
 化学的安定性 通常の温度及び保管条件で安定。  
 危険有害反応可能性 強アルカリ性で分解。火災又は高熱により容器が激しく破裂する恐れがある。  
 避けるべき条件 アルカリとの混合や接触  
 混触危険物質\* 強塩基類  
 危険有害な分解生成物 シアン化水素(青酸)、メチルイソシアネート、窒素酸化物、イオウ酸化物

## 11. 【有害性情報】

急性毒性 経口：ラット LD<sub>50</sub>: ♂ 73 mg/kg ♀ 84 mg/kg  
 経皮：ラット LD<sub>50</sub>: ♂ ♀ > 2000 mg/kg  
 吸入：ラット LC<sub>50</sub>: 0.76 mg/L (4 時間)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 種：ウサギ  
 結果：刺激性なし。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 種：ウサギ  
 結果：軽度の刺激性。

呼吸器感作性又は皮膚感作性  
 呼吸器感作性 知見なし

皮膚感作性 種：モルモット  
 結果：陰性

生殖細胞変異原性 メソミル：  
 細菌及び哺乳類の培養細胞での試験では、変異原性は認められなかった。  
 動物試験においては遺伝子は損傷されなかった。

発がん性 メソミル：  
 動物実験では、発がん性を示唆する所見はなかった。  
 区分1Aの結晶性シリカを10%未満含むため、区分1とした。

生殖毒性 メソミル：  
 動物試験により、親に有毒となる用量と同じ、あるいはそれ以上の用量において、児動物への影響が示された。

特定標的臓器毒性、単回ばく露 区分1(呼吸器系)の結晶質シリカを10%未満含むため、区分2(呼吸器系)とした。

特定標的臓器毒性、反復ばく露 区分1(呼吸器系、腎臓)の結晶質シリカを10%未満含むため、区分2(呼吸器系、腎臓)とした。

吸引性呼吸器有害性

知見なし

**12. 【 環境影響情報 】**

水生環境急性有害性

オオミジンコ EC<sub>50</sub> (48 時間) 0.0128 mg/L に基づき、区分1とした。

水生環境慢性有害性

区分1であるメソミルの成分濃度が 25%以上となることから、区分1とした。

生態毒性

魚類に対する急性、延長毒性

コイ LC<sub>50</sub> (96 時間) : 9.41 mg/L

水生植物に対する急性毒性

藻類 EbC<sub>50</sub> (0 -72 時間): 219 mg/L

水生無脊椎動物に対する急性毒性

オオミジンコ EC<sub>50</sub> (48 時間) : 0.0128 mg/L

&lt;メソミル&gt;

水生無脊椎動物に対する急性毒性

オオミジンコ EC<sub>50</sub> (48 時間) : 0.017 mg/L

残留性・分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壌中の移動性

情報なし

**13. 【 廃棄上の注意 】**

廃棄の適用法令

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た一般(或いは、特別管理)産業廃棄物業者と契約を結んだ上、処理を委託する。

残余廃棄物

都道府県知事などの許可を得た産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

焼却処理を行う場合

1) (1)そのままスクラバーを具備した焼却炉で焼却する。(2)可燃性溶剤とともにスクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。

2) アルカリ法: 水酸化ナトリウム水溶液等と加温して加水分解する。

汚染容器・包装

使用残りの薬剤が生じないように調製する。空容器は圃場などに放置せず適切に処理する。取扱い、保管、輸送、処分は毒物及び劇物取締法の定めに従う。保管や処分により貯水や食料・飼料を汚染させないようにする。

**14. 【 輸送上の注意 】**

国際規制

国連番号

UN 2757

品名

Carbamate pesticide, solid, toxic (Methomyl)

国連分類

クラス 6.1

包装等級(PG)

III

海洋汚染物質

該当

国内規制

毒物及び劇物取締法

輸送の特定の安全対策及び条件	[積載]国及び地方自治体の輸送に関する法律を遵守する。容器に収納し、常に密閉状態を保つ。容器などが転倒し、又は破損することのないように積載する。有蓋車又はシート等を掛けて運搬する。梱包が破れないように水漏れや乱暴な取扱いを避ける。[予防] 保護具を携帯する。
応急措置指針番号	151

## 15. 【 適用法令 】

農薬取締法（登録番号： 第 20863 号）  
毒物及び劇物取締法（劇物 指定令第 2 条 100 の 9）  
海洋汚染防止法 施行規則第 30 条の 2 の 3 個品運送P  
船舶安全法 危規則第 3 条 危険物告示別表第 1(毒物類・毒物)  
航空法 施行規則第 194 条 危険物告示別表第 1(毒物類・毒物)  
道路法 施行令第 19 条の 13 車両の通行の制限  
労働安全衛生法 通知対象物質： メソミル(595)、シリカ(312)  
表示物質： メソミル、シリカ  
化管法 第 1 種指定化学物質： メソミル(443)

## 16. 【 その他の情報 】

(公財) 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合）  
中毒 110 番 一般市民専用電話 (大阪) 072-727-2499 (情報料無料)  
365 日 24 時間対応  
(つくば) 029-852-9999(情報料無料)  
365 日 9～21 時対応  
医療機関専用有料電話 (大阪) 072-726-9923 (一件 2000 円)  
365 日 24 時間対応  
(つくば) 029-851-9999 (一件 2000 円)  
365 日 9～21 時対応

別段の表示がない限り、®を付した商標は、米国デュポン社又はその関連会社の登録商標です。

記載内容は現時点での情報、データをもとに作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。本データシートは情報を提供するものであって、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関して保証するものではありません。また注意事項は通常の手配を対としたものです。